



山東小学校 学校便り

NO. 1

『鏝(かすがい)』

令和6年4月9日

文責 中村博朗

どうぞよろしく申し上げます

保護者・地域の皆様、今年度校長を務めさせていただきます中村 博朗（なかむら ひろあき）です。山東小学校5年目になりました。教頭として赴任した当初から、山東小学校の自然の豊かさ、保護者や地域の方々の温かさ、そして何より素直な子どもたちの笑顔に支えられてきました。校長としての責任の重さを自覚すると同時に、今までと変わらぬ笑顔で取り組んでまいります。

今年度は特に「一人一人のよさを大切に」する学校を目指します。自分の強みをいかして、集団の中での役割はもちろん、自分自身の成長につなげていく、そんな一人一人を大切にした学校です。そのためには、これまでと変わらぬ保護者や地域の皆様のご理解とご協力が必要不可欠です。どうぞよろしくお願い致します。

この学校便りの名前は『鏝(かすがい)』としました。学校、保護者、地域をつなぐ鏝(かすがい)となれるように、子どもたちや先生たちの頑張っている姿や成長している姿を中心に、学校の状況や方針など様々なことをお知らせするために発行します。また、時々、校長コラムにも挑戦します。拙文ではありますが、お読みいただければ幸いです。

先生紹介

新しく4名の先生が、令和6年度から本校に来ていただくことになりました。岡崎教頭先生、渡辺先生、重藤先生、峰先生です。

職員一同、全力で取り組みます。どうぞよろしくお願い致します。



岡崎 教頭先生

重藤 先生

渡辺 先生

峰 先生

※ 裏面に全職員名簿を載せております。ご覧ください。

1	校長	中村	14	養護教諭	佐藤
2	教頭	岡崎	15	事務主幹	古賀
3	教務主任・算数TT	松木	16	学校運営サポーター	西橋
4	1年担任	田中	17	学級支援員	長谷
5	2年担任	竹本	18	給食副主任	佐藤
6	3年担任	浦山	19	給食調理	森本
7	4年担任	重藤	20	図書司書補助	峰
8	5年担任	坂口	21	事務補助	前田
9	6年担任	三浦	22	給食調理補助	馬場
10	なかよし1組担任	野口	23	給食調理補助	吉畑
11	なかよし2組担任	渡辺	24	給食調理補助	中山
12	理科専科・TT	佐藤	25	ALT	
13	外国語専科	北森	※外国語専科の北森先生は桜井小所属		

校長コラム① 叱られる子、大好きです

よく叱られる子って、昔はたくさんいませんでしたか？ 私も担任をしていた時に、いつもやらかしてしまってよく叱られるお子さんがいたのですが、私はそういうお子さんが大好きでした。もちろん、悪いことをしているわけですから、本気で叱るのですが、叱りながら「この子はいい子だな」とも思うのです。なぜなら、ごまかし方が下手でよく叱られているからです。

昔よく叱られていた子どもが、大人になったら周囲から頼られる人物に成長していた事ってよくありますよね。子どもの頃は叱られるだけでよくわからなかったけれども、たくさんの人から教え諭されることによって、人として大切なことを身をもって学んでいく。また、叱られることに耐性もできて、ちょっとやさそとではくじけない芯の強さも磨かれる。本人の成長はもちろん、「良い叱られ方」をして、自尊心を損なうことなく成長する人がきっとそうなるのだと思います。

逆に心配になってよく気にかけていたのは、いわゆる優等生でした。「優等生であらねばならない」または「優等生であることを求められている」お子さんは、失敗した後の立ち上がり方がわからなかったり、ごまかし方がうまかったりすることが多かったです。「嘘をついたこともない」「常に正しいことができる」なんてお子さんはほとんどいません。ひょっとしたら、千人に一人はいるかもしれません。野球で言えば大谷翔平クラスでしょうか。しかし、のこりの999人はそうではありません。迷い、悩み、時には人を傷つけ、自分も傷つけられながら、周囲の友だちの支えや大人の教えに導かれて成長していきます。

そんな子どもたちの成長を促すために、私たち教師は「良い叱り方」の技術を常に磨いていかなければなりません。私が特に気をつけていたのは「一人を悪者にしない」ということです。誰か一人を悪者にして終わりではなく、「自分にできることはなんだったんだろう」と一緒に考えます。特にいじめ等の問題では、周囲でみている「傍観者」の役割がとても重要です。「自分はやっていない」ではなく、周囲に相談するとか、被害者に声をかけるとか、できることはたくさんあります。

自尊心を損なわない「良い叱り方」。とても難しく、うまくいかないことも多いです。しかし、私たち教師は、それを目指して日々技術を磨いています。そのためには、保護者の皆様のご理解とご協力が必要不可欠です。気になることがありましたら、いつでもご相談ください。

今回は叱ることばかり書きましたが、もちろん、「ほめること」はもっと大事です。私もほめられた方が伸びるタイプです。ただ、今の時代の風潮の中で、子ども時代に叱られることをもっと肯定的に捉えてもいいのではないかと思います。校長コラムの第1弾で書かせていただきました。